

令和6年度門真市障がい者福祉センター指定管理者自己評価結果

【評価対象年度】：令和5年度

1. 総則

指定管理者	株式会社オールケアライフ
事業期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
管理体制	【生活介護】管理者<<常勤1名>> サービス管理責任者<<常勤1名>> 看護師<<常勤3名>> 生活支援員<<常勤4名・非常勤15名>> 嘱託医<<非常勤1名>> 理学療法士<<非常勤2名>> 作業療法士<<非常勤1名>> 言語聴覚士<<非常勤1名>> 送迎ドライバー<<放課後等デイサービス兼務 非常勤1名>> 事務員<<放課後等デイサービス兼務 常勤1名>> 【放課後等デイサービス】 *すてっぷ1組(重症心身障がい児以外対象) 児童発達支援管理責任者<<常勤1名>> 児童指導員<<常勤2名>> その他の従業者<<常勤1名 非常勤1名>> 機能訓練担当職員<<非常勤1名>> 嘱託医<<非常勤1名>> *すてっぷ2組(重症心身障がい児対象) 管理者兼児童発達支援管理責任者<<常勤1名>> 保育士<<常勤1名 非常勤1名>> 看護師<<常勤1名 非常勤1名>> 児童指導員<<常勤1名 非常勤2名>> 機能訓練担当職員<<非常勤3名>> 嘱託医<<非常勤1名>> <<令和6年3月31日現在>>※法定雇用率達成している
職員の勤務状況	【生活介護】常勤換算1:1.7配置(前年度実績比22.2人の為常勤換算13.1人配置) 【放課後等デイサービス】児童福祉法に則り、主に重症心身障がい児対象、主に重症心身障がい児以外対象としての配置

2. 施設のサービス水準

(1) 事業達成度の分析・評価

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
運営業務	開館日・時間	【生活介護】 午前8時30分から午後5時30分まで開館 休館日は①土曜日及び日曜日②1月1日から1月3日 ※土日であっても行事等がある場合は営業日とする 【放課後等デイサービス】 午前9時から午後7時まで開館 休館日は①土曜日及び日曜日②1月1日から1月3日 ※土日であっても行事等がある場合は営業日とする 【ミーティングルーム等】 午前9時から午後9時まで 休館日は①土曜日②休日③12月29日から1月3日	協定書通りに実施し、行政やボランティア団体、一般の方からの依頼に対応した。 貸館については、障がい当事者による日曜日の利用申し込みはなかった。	開館時間を超過しての利用はなかった。
	受付・案内	【ミーティングルーム等】 希望日時と部屋名を受け付け、当日開錠	ミーティングルーム等、多数の利用あり	多くの利用につながるよう、予約に対して、空いている時間帯や日程を明確に伝えることで利用の幅を広げた。
	料金設定	障害者総合支援法第29条第1項に規定する特定費用として市長が別に定める額及び同法第29条第3項の厚生労働大臣が定める基準により算定した費用の額、児童福祉法第21条の5の3第1項に規定する通所特定費用として市長が別に定める額及び児童福祉法第21条の5の3第2項に規定する厚生労働大臣が定める基準により算定した額。	【生活介護】 食事提供に係る食材料費「341円/1食」及び利用者負担上限額に則り徴収 【放課後等デイサービス】 食事提供に係る食材料費(希望者のみ)「540円/1食」 入浴提供に係る入浴料金(希望者のみ)「300円/1回」 生活介護と同様に、利用者負担上限額に則り徴収	規定通りの徴収を行った。
	広報・宣伝	特になし	関係機関等の見学、体験等を受け入れる。	今年は、地域住民の方の見学受け入れ対応や交流の場作りを行うことができた。 また、体験希望や、関連機関の見学に関しても受け入れができた。

項目	内容	協定事項等	実施状況（実績値等）	達成度分析
施設維持管理業務	清掃・保守点検	事務室、浴室、食堂及びデイルーム等の清掃 浴室の水質管理	毎日、朝及び全利用者様帰宅後16:00以降に清掃を行い、毎週木曜日には通常の清掃に加え、次亜塩素酸溶液にて床の清掃を実施している。 汚染時には、随時次亜塩素酸溶液やアルコール等にて清掃を行っている。 浴室に関しては、全利用者入浴終了後、浴室用洗剤で清掃を行い、一般浴室の浴槽、排水溝、窓ガラスは毎週金曜日に清掃を実施している。 機械浴室での医療的ケア利用者入浴時は、毎回浴槽清掃を実施している。 厨房の清掃は委託業者が実施している。 水質管理は設備会社が実施している。	浴室に関しては、通常の清掃と合わせて、毎朝床を次亜塩素酸溶液で拭き、職員は入口で外履きと内履きの区別を行い衛生管理を継続できた。 一般浴室浴槽内の水質に関しては、浴槽湯の破棄を規定日以外にも実施する等行い、設備会社の簡易水質検査時の数値によっては、その都度塩素濃度引き上げなどの措置を継続した。
	修繕	設備の状況により、年次計画書の通り実施	廊下、ホール内一部床・ホール内ロールカーテン・一般浴室天井・脱衣場床・壁、特別浴室床・アトリエ壁・作業療法室壁、ベッドブレイキ・机・事務所ブラインド・貸館ロールカーテン・厨房	壁や床、ベッドブレイキの修繕により、安全に安心して過ごすことができるようになった。 ブラインドやロールカーテンの修繕により、見た目もよくなった。

項目	内容	協定事項等	実施状況（実績値等）	達成度分析
施設利用等許可業務	利用者数・利用料金	生活介護 利用定員20名 放課後等デイサービス (重症心身障がい児対象) 利用定員 5名 放課後等デイサービス (重症心身障がい児以外対象) 利用定員 10名	生活介護 利用のべ人数 5,705人 放課後等デイサービス (重症心身障がい児対象) 利用のべ人数 1,106人 放課後等デイサービス (重症心身障がい児以外対象) 利用のべ人数 2,025人	生活介護の利用者数は昨年度より日平均0.6名の減。 放課後等デイサービスの利用者数は、昨年度より、重症心身障がい児対象クラスは日平均0.8の減。 重症心身障がい児以外対象クラスは日平均1.1名の増。
	利用率	開所日数 生活介護 257日 (土日及び1/1～1/3を除く) 放課後等デイサービス 257日 (土日及び1/1～1/3を除く)	生活介護 平均利用可能定員 25人/日 平均利用者数 22.2人/日 放課後等デイサービス 平均利用可能定員 *重症心身障がい児 6.25人/日 *重症心身障がい児以外 10.0人/日 平均利用児数 *重症心身障がい児 4.3人/日 *重症心身障がい児以外 7.9人/日	生活介護においては、コロナ・インフルエンザの影響などで自粛により利用者数減少。イベントの土曜日開催により利用者数増加を目指し、新規利用者6名獲得し、利用者数増加に繋がった。 放課後等デイサービスにおいては、重心クラス・重心外クラスともに卒業生が多く、上半期は利用児数が減った。重心クラス・重心外クラスともに、下半期で新規利用児が増えたり不定期利用や一人当たりの利用日数も増えた。

【様式第1号】
（指定管理者記入様式）

項目	内容	協定事項等	実施状況（実績値等）	達成度分析
自主事業	夏祭り	地域との交流と開かれた施設運営を目的とした祭りの開催	コロナ禍以前のように、地域の方との交流の場としてちきりん・銭太鼓・フラダンスの方達による出し物などを披露し、すてっぷ生活介護合同、ご家族様や地域の方を招待し、規模を拡大した「ふれあい祭り」を開催できた。（飲み物のみ販売）	感染対策を実施したうえで開催し、地域の方やご家族様・多数の方に来場していただけた。 ご家族やご利用者様からの喜びのお声もいただけた。
	遠足・外泊企画	社会資源の活用目的	鶴見緑地公園・四条畷イオンへの外出。生駒山麓公園への外泊企画を数年ぶりに実施できた。 祝日にはドライブで、よつば未来公園や山田池公園に外出を実施した。	感染対策を実施し、人数数ずつでの外出。人数制限での外泊企画となったが、久しぶりの外出・宿泊にご利用者様に満足いただけた。
	お楽しみ会・クリスマス会	利用者交流目的	生活介護・すてっぷ合同での開催ができ、それぞれの出し物や合同の出し物を披露。ご家族様にも来場していただけた。	ご家族様も多数来場して下さり、数年ぶりの生活介護・すてっぷ合同でのクリスマス会を実施でき、利用者様・スタッフ共に楽しんで過ごすことができた。
	「地域情報誌 ぱど」「散歩」「レクリエーション」等	自主的な事業の開催	季節を感じる事ができる活動や散歩を実施する。1か月に1度、地域情報誌ぱどのチラシ折り、配達作業の実施。	「地域情報誌 ぱど」については全員参加のシステムを作り、全員参加の達成ができた。「散歩」「レクリエーション」については、春には花見や近隣の公園まで出かけ、毎日の活動実施を目標とした。

項目	内容	協定事項等	実施状況（実績値等）	達成度分析
その他	職員研修	資質向上研修を実施	外部研修に参加。 事業所内職員研修ではケース検討及び、介護技術研修を取り入れ、利用者理解・障がい理解等の資質向上を行った。 ドライバー向けの研修（座学・演習等）は毎月1回開催。JAF・アズンシステム等外部講師を招いての研修も実施。	外部研修に参加した職員から研修内容の全体周知を実施し、現場へ活用できた。ケース検討では、利用者・障がい理解を深めるとともに、職員全体の情報共有の場とすることができた。 ドライバー研修では、送迎に関する問題や事故の共有、座学・演習、JAF・アズンシステム等外部講師による研修を行い運転技術や運転態度の向上に繋がった。また、事故発生に対して運転手対象の個別実車研修を実施し、運転技術に加え安全運転に関する意識を向上させた。
	個人情報保護	個人情報保護研修を実施	1回/月 全体ミーティング内で実施	個人情報として捉えるべき内容の認識を職員で共有していきけるよう、会議で検討と情報共有を行うことができた。
	情報公開	市条例等に従い情報の公開にあたる	1回/月 受領証の発行 創作活動等費会計報告	創作活動費の使途方法等も利用者のニーズに合うように行い、会計報告を行うことで集金拒否はない。
	緊急対応	防災・防犯・安全・感染対策	防犯については職員の全体研修の中で、不審者の侵入を想定し、さすまた・傘・椅子等を使用した防御方法を研修で実際に実施した。 感染対策については、一介助一手指消毒や1時間半毎の施設内の各箇所の消毒を実施した。出勤時には体温の測定・うがい・手洗いを実施した。食事時は対面を避け密を避けられるように実施した。 安全対策として、ヒヤリ・事故を毎月集計したうえで傾向を把握し、会議で報告、共有するとともに事故の減少に努めた。	感染対策に関しては一介助一手指洗い、出勤時にはうがい・手洗い・検温を徹底した。定期的に施設内の各所の消毒を実施し、職員全員のマスク着用を継続した。防災訓練は利用者と一緒に、防犯訓練は職員間研修にて実施した。今後は避難時に必要な対応や方法を更に改善していく。

事業達成度評価 コメント

離職はあったが、職員の増員と定着により法定雇用率の達成ができた。
 昨年に引き続き新型コロナウイルス感染の影響により、生活介護・放課後等デイサービス共に利用数の低下がみられたが、コロナウイルス感染が第5類となったことで地域との交流が緩和され、コロナ禍以前のようなイベント実施が出来た。
 新型コロナウイルス感染症対策を継続しながら、レクリエーションも活発化出来ている。体調不良者にも連絡をとり、不定期利用へと繋げることができた。しかし、生活介護では、施設入所や自立傾向のある利用者様の他事業所への移行による契約数の減少があり、利用者数増加には至らなかった。放課後等デイサービスでは、新規契約が数名あったが、安定した利用には至っていない。
 送迎車における事故は、当事業所の過失によるものが2回あった。それらの点から、協定事項に定める水準を上回ることができていないと判断した。
 今後も引き続き感染対策を実施したうえで、見学者や体験希望の受け入れ、ホームページ等における情報発信の活用を行い、利用者確保に努める。送迎車の事故に際しては、施設内の安全運転講習・ミーティングにての講習を行い事故防止に努める。
 また、利用者に対して定期的なモニタリングを行い、ニーズを把握し、利用者の信頼と満足へ繋げていく。

事業達成度評価

B

凡例：事業達成度評価の区分

- A：協定事項等に定める水準を上回っている
- B：協定事項等に定める水準と同程度である
- C：協定事項等に定める水準を満たすことができなかった

(2) 利用者満足度の分析・評価

		項目	回答結果・対応状況	分析
1 利用者アンケート調査	実施方法 回答者数		・貸館利用者⇒カウンター、各部屋に常時設置【回答数1人】 ・生活介護・放課後等デイサービス⇒配布【回答数41人】	
	施設・設備の充実度	大変満足－21名【50.0%】 やや満足－8名【19.1%】 普通－9名【21.4%】 やや不満－3名【7.1%】 大変不満－0名【0%】 記載なし－1名【2.4%】		昨夏の冷房故障の影響からか、「普通・やや不満」との回答が増えている。老朽化が進んでおり、都度速やかな修理・交換が求められている。
	施設の利用のしやすさ	大変満足－27名【64.3%】 やや満足－8名【19.0%】 普通－7名【16.7%】 やや不満－0名【0%】 大変不満－0名【0%】 記載なし－0名【0%】		市の建物ということで色々制限がかかる反面、行事等では広さを活かし、様々な利用の仕方をしている点を評価いただいた。
	職員の対応・態度	大変満足－31名【73.8%】 やや満足－7名【16.6%】 普通－2名【4.8%】 やや不満－2名【4.8%】 大変不満－0名【0%】 記載なし－0名【0%】		生活介護・放課後等デイサービス利用者だけでなく、貸館利用者が来館の際も、窓口スタッフだけでなく、ホールスタッフも含めて挨拶の徹底と親切・丁寧な対応を心掛けており、貸館利用者からも高い評価をいただいた。スタッフの増加を望む声あり、人員不足がやや不満に繋がっていると思われる。
	利用料金	アンケートに項目なし		
	利用時間	大変満足－24名【57.2%】 やや満足－5名【11.9%】 普通－10名【23.8%】 やや不満－3名【7.1%】 大変不満－0名【0%】 記載なし－0名【0%】		生活介護・放課後等デイサービスの休日の開館要望や祝日の時間延長の要望が毎年上がっているが、保健福祉センター内である事を説明し、了承を得ている。長期休暇中は朝から利用できるため、児童の保護者より感謝の声をいただいている。
	実施事業の充実度	大変満足－22名【52.4%】 やや満足－11名【26.1%】 普通－6名【14.3%】 やや不満－2名【4.8%】 大変不満－0名【0%】 記載なし－1名【2.4%】		利用者や利用者家族への挨拶、対話、笑顔を大切に、信頼関係を深め、個別支援計画の全体周知や、終礼朝礼での情報共有を行い、支援の統一に努めている。実施事業としてグループホーム・短期入所施設についての要望あり、ご家族の高齢化による不安につながっていると思われる。
2. 市民等からの意見・要望等	主な意見・要望等の内容		対応状況等	
	サービス提供時間帯を延長してほしい		保健福祉センター内であることを説明し了承を得るとともに、利用者のニーズに応えられるようサービス提供時間帯内での、時間変更・延長等の急な対応に応えた。	
	ショートステイ・グループホームがあればよい		以前より利用児者の声として障がい福祉課へ報告するが、「実施は困難である」との回答を得ていたため、個々の利用児者への説明を行っている。	
	照明が暗いのが気になる		健康増進課に相談しスポットライトが点くように対応いただき多少は改善するも、まだ暗いとの意見が出ている。	
	冷房の故障により、施設利用が不安		室温を常に確認し、必要に応じて冷房の利く別室に一時避難する等の対応をとった。修理については、健康増進課が対応し進めてくれている。	

利用者満足度評価 コメント

施設の利用のしやすさについては約83%の方が大変満足とやや満足、職員の対応・態度については約90%の方が大変満足とやや満足、実施事業の充実度は約78%の方が大変満足とやや満足との回答をされているため、概ね良好な反応が得られていると判断。今後とも、分析・評価に努め、不満要因についてさらなる追求を深め施設利便性の向上を図っていく。なお、例年同様にショートステイやグループホームの希望があがっていた。

（3）収支状況の分析・評価

収入の部

（単位：千円）

		予算額	実績額	実績 - 予算	備考	
委託料				0		
利用料金等	施設利用料			0		
	事業収入	生活介護	111,567	116,444	4,877	介護職員処遇改善加算及び給食費含む
		放課後等デイサービス （重心児以外）	29,697	52,581	-15,342	介護職員処遇改善加算及び給食費含む
		放課後等デイサービス （重心児）	38,226			
	給食費			0		
雑入	雑収入	1,275	1,654	379	・給食費含む ・「大阪府社会福祉施設等物価高騰対策一時支援金」（189千円）含む ・「門真市物価高騰対策緊急支援金」（150千円）含む	
収入合計		180,765	170,679	-10,086		

支出の部

（単位：千円）

大項目	小項目	予算額	実績額	予算 - 実績	備考
人件費	給与費	145,241	105,235	40,006	予算額には福利厚生費等及び賞与を含む
	福利厚生費	0	1,416	-1,416	
	法定福利費	0	17,907	-17,907	
	賃金等（賞与）	0	15,930	-15,930	
事務費	印刷費	1,536	81	1,455	広告宣伝費
	通信費	722	1,068	-346	備品購入費（消耗品費）に含む
	保険料	2,013	499	1,514	
	事務用品費				
	旅費交通費	2,108	2,322	-214	
	賃借料	2,566	938	1,628	
管理費	業務委託費	12,213	6,811	5,402	外注費
	光熱水費	6,019	5,221	798	車両費
	修繕費	1,144	510	634	
	燃料費	2,364	3,113	-749	
物件費	備品購入費	1,922	1,671	251	消耗品費
事業費	事業費	2,224	9,497	-7,273	研修費・接待交際費・支払手数料・減価償却費・図書費・本部事務手数料・雑費
公租公課	租税公課	0	57	-57	
支出合計		180,072	172,276	7,796	

収支（実績ベース）

170,679 - 172,276 = -1,597

収支状況評価コメント

コロナ感染・インフルエンザの影響により、利用者数が伸びず、予算額より実績額は減少。また放課後等デイサービスの児童の卒業により利用児
数減少による実績額の減少があった。ただし、前年度はコロナ感染による閉所があったが、第5類に移行したため前年度に比べると事業収入は増
大した。
また研修や資格を取得するための研修費が増大した。
利用者数確保に向け、さらに利用者に喜んでいただけるような様々なイベントを計画していく。